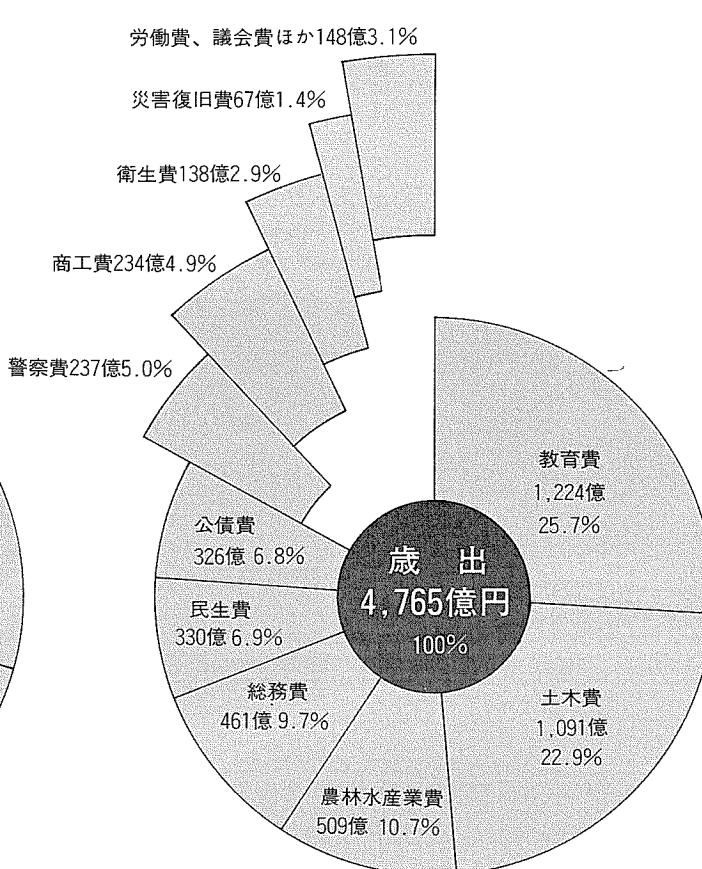
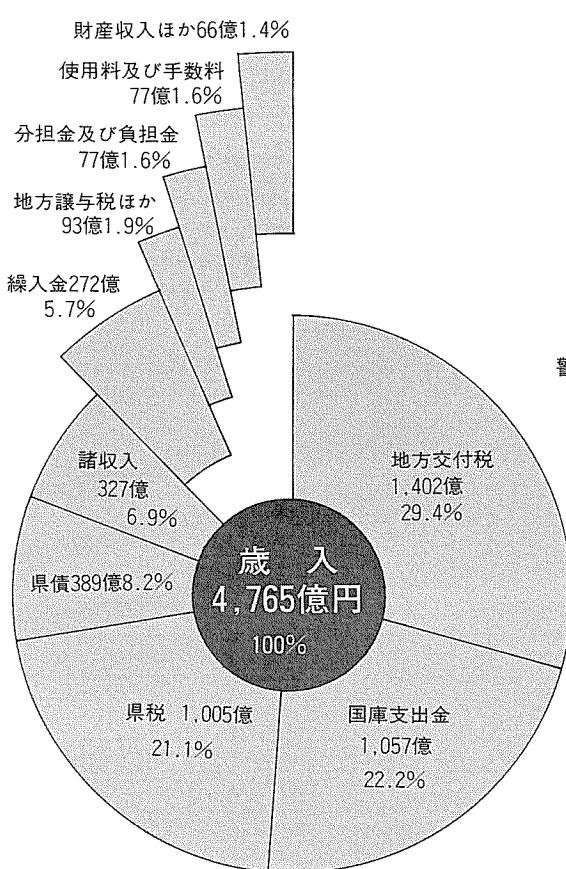


平成4年度県予算決まる 総額4,765億3,646万7千円



4,765億3,646万7千円 806億6,189万6千円 284億8,409万5千円

の増、県単独事業は大幅に37.8パーセントの増



(こころ豊かな人づくり)



情報化、国際化、技術革新などに対応できる新しい時代の人づくりを進めます。

環太平洋国際会議の開催 (新)

1,500万円

環太平洋諸国の地域開発をテーマに、国際会議を今年中に開催。

高等学校の施設の充実

29億4,500万円

教室や実習室、課外活動室など学校施設の整備を行う。

みはま養護学校高等部の開設 (新)

800万円

重症心身障害児を対象にした高等部をみはま養護学校(美浜町)に設置。

和歌山県青少年プラン(仮称)の策定 (新)

200万円

学校や家庭、社会における青少年の実態を把握し、今後の青少年対策の基本的な方向を見きわめる。

県営都市公園運動施設の整備

1億1,000万円

今年8月に開催される近畿中学校総合体育大会にそなえ、紀三井寺陸上競技場、秋葉山プールなどを改修。

熊野学研究センター(仮称)構想の調査 (新)

300万円

熊野地方の歴史・文化・思想の研究機関の設置にむけて基礎調査の実施。

新美術館・博物館・図書館の建設

103億6,300万円

美術館・博物館は平成6年3月、図書館は平成5年3月の完成をめざし建設が進む。

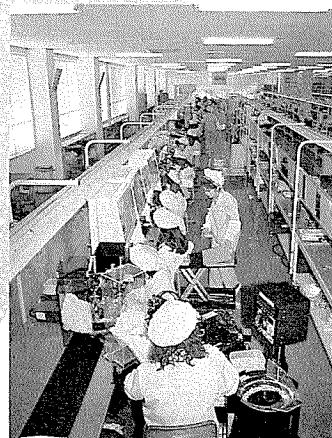
近畿高等学校総合文化祭の開催 (新)

4,000万円

今年11月、近畿2府6県および県内の高校から7,000人が参加し、文化祭を開催する。

力強い産業の振興

経済環境の変化に対応できる産業の振興を支援し、また地域の活性化をめざし企業誘致を進めます。



工業団地の造成

64億1,900万円

御坊工業団地、御坊第2工業用地の造成を続行、新たに工業用地2カ所を開発する。

農業担い手婦人の能力開発 (新)

400万円

農業婦人を対象に農業経営への参加の促進をはかる。

公共牧場の造成

1億700万円

県畜産試験場(すさみ町)の隣地5ヘクタールに草地を造成し、高能力牛の増殖に取り組む。

木質新素材の高度利用研究 (新)

5,200万円

スギ材などを高品質化し、新素材として実用化する研究。

山村都市交流環境整備

900万円

交流宿泊施設や体験農園などの整備を行い山村と都市との交流を促進する。

漁村クリーンアップ

1,200万円

廃棄物処理施設の設置に補助を行い、美しい漁村づくりを推進。

世界リゾート博の推進

4億5,500万円

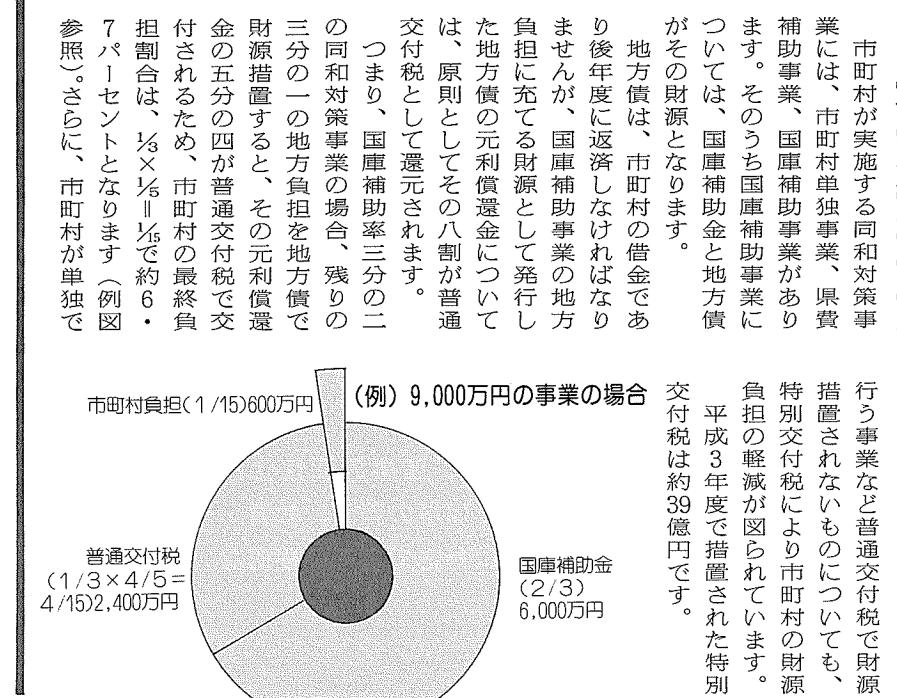
平成6年夏に開催する世界リゾート博の会場設計、出展要請、プレイベントの実施など。

和歌山県イメージアップの推進

1億1,000万円

関東、関西圏のテレビスポット放送を実施。

同和対策事業と地方交付税



(陸海空の交通網整備)



陸・海・空の交通が互いに連携を持つ総合交通体系を整備し、県土の均衡のとれた発展をめざします。

第2国土軸推進基盤整備調査 (新)
3,000万円

新しい国土軸の建設にむけ、関連する交通網のあり方を検討。

総合交通ネットワークの推進 (新)
1,000万円

J R 紀勢線へのミニ新幹線導入の可能性を調査検討。

高速道路の延長と関連道路の整備
20億500万円

湯浅御坊道路の建設と用地確保。また県道姫子御坊線、江川小松原線の整備を進める。

関西国際空港関連道路の整備
12億8,400万円

県道泉佐野岩出線、岬加太港線、粉河加太線で用地買収や工事を促進。

新しいまちづくりのための道路整備

95億1,900万円

リゾート基地やテクノタウンなど、地域色を生かしたまちづくりのための関連道路を整備。

広域農道の整備

15億8,600万円

紀の川地区、日高地区などで農道の建設を推進。

南紀新空港の建設

68億7,100万円

南紀白浜空港の整備を進める。完成後は130人クラスのジェット機が就航可能に。

国際複合輸送(ICT)拠点整備推進調査 (新)

1,000万円

海上を走る超高速船「テクノスーパーライナー(T S L)」の開発が進んでいる。これに対応し、寄港地や物流システムなどを検討。

(安心できる社会づくり)



全国水準を上回る高齢化が進むなか、健康で安心して暮せる社会づくりを推進します。

健康ふれ愛和歌山計画の推進
2億200万円

和歌山操車場跡地(和歌山市)に建設する健康福祉センター(仮称)と多目的ホールの基本設計を策定。

県立医科大学の移転整備
3億2,000万円

紀三井寺競馬場跡地に新しく建設する県立医大の基本設計を策定。

看護職員の充足対策など

1億9,600万円

看護職員の不足に対応する諸施策。また紀南に看護婦養成所を設置するため調査を行う。

アトピー性皮膚炎対策 (新)

200万円

3歳児を対象に、アトピー性皮膚炎の実態を調査。

明日のための基金

県では、将来必ず必要となる計画や事業のためや、県債(借金)の返済のためにお金を積み立てています。これが「基金」というもので、いわば県の貯金です。

明日の豊かなふるさとづくりのため、今後も基金を計画的に活用していきます。

主な基金	平成3年度末残高	目的
文化施設等整備基金	73億円	図書館、美術館などの建設費用の一部に使います。
医大整備基金	165億円	医大の移転整備事業の一部に使います。
土地開発基金	159億円	公共用地の先行取得に使います。
財政調整基金	145億円	県税収入が不足したときの財源とします。
県債管理基金	746億円	起債(借金)の残高は、平成3年度末で2,633億円になります。この返済の一部に使われています。
その他の	122億円	福祉対策等基金25億円 産業開発基金27億円 美術品取得基金25億円 地域振興基金17億円ほか
計	1410億円	

一般会計予算→
特別会計予算→
企業会計予算→

投資的経費は対前年度比11.5パーセント

新年度予算は、①交通体系の整備、②健康福祉の充実、③生活環境の整備、④人づくりと文化振興、⑤産業の振興、といった5つの重点施策に沿って編成。県事業に対する市町村の財政負担13億円の軽減や、生活環境の整備に新しく重点化枠を設けるなどの特徴も設け、新しい時代に対応できる豊富な内容となりました。予算に盛り込まれた事業はすべて重要なのですが、ここでは主なものを取り上げ、特集してみました。
新は新規事業です。

在宅老人福祉事業の緊急整備

5億7,800万円

ホームヘルパーの増員、ショートステイの定員の拡大、デイサービス施設の増設。

老人福祉施設の整備

10億3,100万円

特別養護老人ホーム2カ所、デイサービスセンター10カ所、介護支援センター3カ所の新設など。

精神薄弱者・身体障害者施設などへの補助

3億8,900万円

援護施設や福祉工場、福祉ホームの建設や小規模作業所の運営に対し補助を行う。

同和問題の解決

125億8,400万円

同和問題の早期完全解決のため教育啓発活動や産業就労対策を展開、残事業の実施にも積極的に取り組む。

(新しいまちづくりと環境整備)



地球的規模で環境の見直しが問われる現在、やさしい環境づくりを進め、住んでいてよかったです。ふるさとをつくります。

合併処理浄化槽設置の促進

1億6,700万円

生活雑排水による環境悪化の防止のため、合併処理浄化槽の設置を進める市町村に補助。

道路景観の整備 (新)

3,500万円

橋やトンネル、法面などを景観上の観点から整備し、地域の自然や歴史と調和した道づくりを進める。

ホタルのすむ溪流づくり (新)

5,000万円

砂防設備を整備し、ホタルや魚が住みつくような潤いのある砂防空間をつくる。

都市公園整備補助 (新)

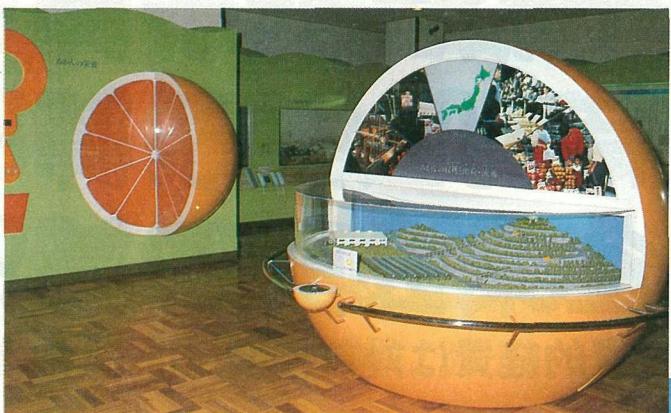
1億円

市町村が行う都市公園事業を支援し、施設や遊具の整備に補助を行なう。

暴力団追放県民センター(仮称)の設立 (新)

5億500万円

暴力団排除県民運動の拠点となるセンターを設立。



みかん資料館
（有田市箕島）

“みかん”ならおまかせ



こそ 博物館

私たちの好奇心を満たしていく
少なくありません。
した資料館や公園などは、
くうえでぜひ訪れてほしい
ときめき、郷愁、それにち
こ出会えるかもしれません。

海の彼方に夢をもとめた アメリカ村資料館

（美浜町三尾）
移民の先覚者がカナダに渡って約一世紀余。以来美浜町三尾から、現在までに約二千数百人が新天地を求めて海を越えました。再び帰国した人たちが、西洋風の生活様式を持ち帰つたため、三尾はアメリカ村と呼ばれるようになりました。

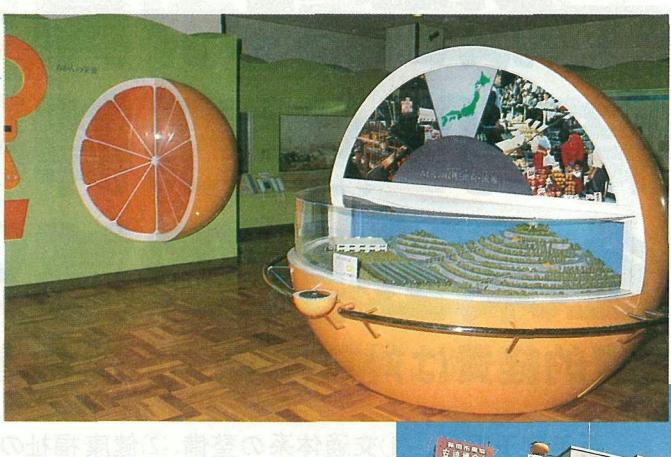
日の岬パーク内にある資料館には、苦難の連続であった移民生活をしのばせる品々や日本とカナダを結ぶ思い出の資料などが集められています。

年中無休
入館料 おとな100円など
交通 JR御坊駅からバス30分
☎ (07386) 2-2326



串本応挙芦雪館

（串本町串本）



みかん資料館
（有田市箕島）

“みかん”ならおまかせ



“和歌山”といえばやっぱり“みかん”。みかんの里にあるこの資料館では、400年余りを誇る有田みかんの歴史や世界のオレンジの実情などをパネルや古文書などで幅広く展示しています。またコンピューターを使った「みかんのQ&A」コーナーや詩情豊かな映像で自然の移りかわりを紹介する「みかんの四季」、その他、紀の国屋文左衛門に関する資料など館内にはみかん情報が満載です。

毎週火、水曜日休館 無料
交通 JR箕島駅から徒歩5分
☎ (0734) 32-0002

これは不思議！影が凍った 和歌山市立こども科学館

(和歌山市寄合町)

こどもたちの「なぜ？」という気持ちを大切にしようというのが和歌山市のこども科学館。紀の川の魚などを展示した郷土の自然コーナー、雷のおこるわけや電話のしくみなどがわかる科学実験コーナー、また昨年開館10周年を記念して全面改装された新展示物「光と音のくに」では壁の前に立つとあなたの影が凍りつくフローズンシャドウはじめ大人も驚きの連続です。その他、プラネタリウムも設けられ、たっぷり1日楽しめます。

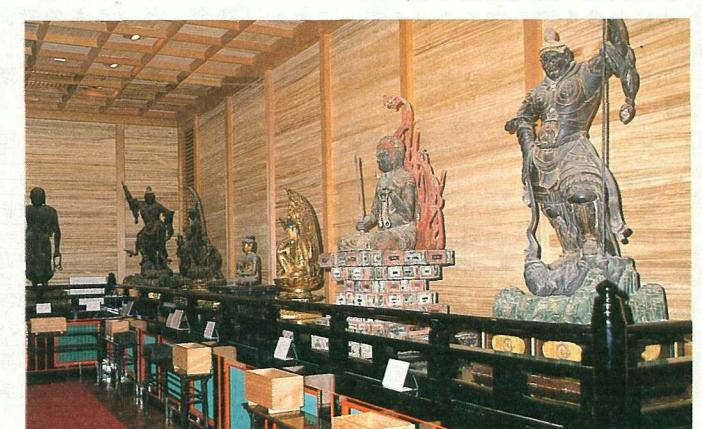
毎週月曜日と祝日休館
入館料 おとな260円など
交通 南海和歌山市駅より徒歩5分
☎ (0734) 32-0002



千年の歴史に刻まれて 高野山靈宝館

(高野町高野山)

高野山内の貴重な文化遺産を保存、展示する施設として大正10年に開館した靈宝館。収蔵する文化財は国宝19件4,673点、重文113件13,999点など膨大なもの。彫刻、絵画、書跡、工芸等、弘法大師の時代からの長い歴史に刻まれた貴重な文化財の数々が展示されています。高野山には参つても入館されたことのない方も多いのですが……。県内という身近にある文化財の宝庫です。一度ゆっくりとご鑑賞ください。



12月末日～1月中旬は休館
入館料 おとな500円など
交通 南海高野山駅よりバス10分
☎ (0736) 56-2254

枯木灘のメルヘン世界 日本童謡の園 (すさみ町江住)



「♪てんてんてんまり、てんてまり……♪」園内に入ると昔なつかしい童謡のメロディーが軽やかに流れてきます。枯木灘に面した童謡の園は、日本で初めての童謡をテーマにした公園です。「赤とんぼ」や「メダカの学校」「みかんの花咲く丘」など童謡の散歩道には、日本の代表的な童謡の歌碑が建ち、その前を歩くと自然にメロディが聞こえます。春の一日、さわやかな潮風の中で、メルヘンの世界をお楽しみください。

年中無休 無料
交通 JRすさみ駅からバス15分、または江住駅からバス5分
☎ (0739) 55-2004 (すさみ町役場)

帰ってきた望郷詩人 佐藤春夫記念館 (新宮市新宮)



「空青し山青し海青し」。ふるさと紀州への限りない想いを詠つた「望郷詩人」、佐藤春夫。

春夫の生誕地・新宮市に昨年オープンした佐藤春夫記念館は東京の旧邸を復元移築したもので、自筆の原稿や初版本、愛用の日用品など数百点が納められています。今年はちょうど佐藤春夫生誕100周年。郷土が生んだ文豪の足跡にふれてみてはいかがですか。

毎週水曜日休館
入館料 おとな300円など
交通 JR新宮駅より徒歩15分
☎ (0735) 21-1755

そのほかのユニーク博物館等

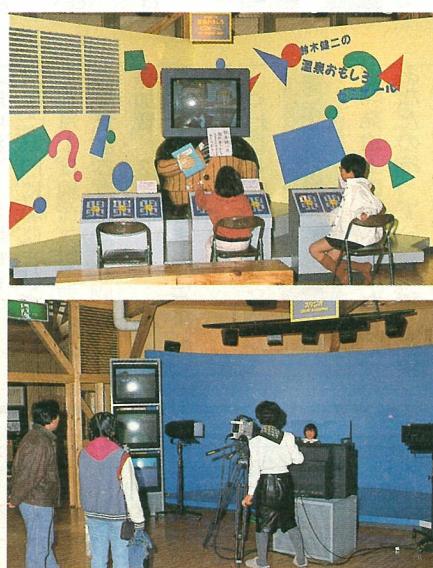
名 称	所 在 地	問い合わせ先
和歌山市発明館	和歌山市寄合町	☎ (0734) 32-0088
スポーツ資料館	和歌山市毛見	☎ (0734) 44-7565
県立自然博物館	海南市船尾	☎ (0734) 83-1777
紀州漆器伝統産業会館	海南市船尾	☎ (0734) 82-0322
災害資料館	花園村新子	☎ (0737) 26-0321
南方熊楠記念館	白浜町番所山	☎ (0739) 42-2872
トルコ記念館	串本町櫻野	☎ (07356) 5-0628
日米修好記念館	串本町櫻野	☎ (07356) 5-0099
石垣栄太郎記念館	太地町常渡	☎ (07355) 9-3223
くじら博物館	太地町常渡	☎ (07355) 9-2400

湯の町・白浜に誕生した新名所。ここに来れば温泉博士になれることがあいます。

キューピー人形の体の各部分に触るとその部分に効果のある温泉の位置がひと目でわかる「温泉の効能」コーナー。おなじみの鈴木健二さんがテレビ画面からワープを出題する「温泉おもしろゼミナール」、ビデオのトリックを使った「びっくり体験スタジオ」、極めつけは服を着たまま温泉気分が味わえる「究極の露天風呂」などなど。

毎週水曜日休館
入館料 おとな300円など
交通 JR白浜駅から車で15分
☎ (0739) 43-5270

大満足！究極の露天風呂 白浜民俗温泉資料館 (白浜町平草原)



備長炭の殿堂です 紀州備長炭振興館 (南部川村清川)

最近のグルメブームの中、備長炭はどこへいっても大人気。日本一の生産地南部川村では、製炭技術修得の拠点として、また備長炭の歴史や伝統を伝える場として紀州備長炭振興館がオープンしています。

各種木炭、炭に関する資料、道具や製品、なまには炭琴と呼ばれる炭を使った楽器も展示されているほか、近くの製炭窯では生産者の指導のもとで備長炭づくりも体験できます。

毎週土曜日の午後と日曜日休館、無料、炭づくり体験は事前予約が必要
交通 JR南部駅からバス40分 ☎ (0739) 76-2258



案外知られていませんが、県内にあるようなユニークな博物館や資料館、温泉、移民など、ここふるさと和歌山をより深く知って施設です。

静かな館内にたたずんでいるよつとした勇気……さまざまな



江戸時代の高名な画家円山応挙とその弟子長沢芦雪。串本無量寺内の応挙芦雪館は2人の力作が数多く展示されている日本一小さな美術館です。

天明6年(1766)津波で流れたこの寺を再建した愚海和尚。新築祝いにと京都の友人応挙から障壁画を贈られました。その使いとしてやって来たのが芦雪で、串本に長く滞在した彼は近くの寺などで存分に腕をふるいました。芦雪作の「龍虎図」などは圧巻です。

年中無休
入館料 おとな300円など
交通 JR串本駅下車徒歩10分
☎ (07356) 2-0468

おしらせ



4月29日の「みどりの日」を記念して、緑との出会い、緑とのふれあいをテーマに、緑化運動への理解を深めていただきため「みどりの感謝祭」を開催します。

日時 4月29日

場所 日高郡中津村「日高川ふれあいドーム」

内容 野外バーべキュー、ふるさと産品ガレージセール、かんたん炭焼体験、グリーンハイクなどの各種イベントや苗木、花の種の無料配布

納め忘れていませんか?

国民年金の保険料 平成3年度分の保険料の納め忘れはありませんか。

納め忘れのある方は4月30日までに市町村役場か金融機関に納めてください。

なお、国民年金の保険料は、4月分から9,700円に変わりました。

労働保険の年度更新手続は5月15日まで

労働保険（労災保険・雇用保険）の申告、納付期限は5月15日までです。

なお、4月1日から保険料率が改正されましたので注意してください。

くわしくは和歌山労働基準局「相談コーナー」(0734-32-8145)、各労働基準監督署または県庁雇用保険課へ戦後強制抑留者の皆様へ

戦後、旧ソ連またはモンゴルの地域で強制抑留された方、またその遺族の方に内閣総理大臣の書状、銀杯が贈呈されます。さらに年金恩給や共済年金

4月29日 和歌山市小松原通1-1 (0734)32-4111

戦後強制抑留者の皆様へ

参 加 者

高齢者総合スポーツ大会の

日時 6月3日午前10時～

場所 和歌山市水場跡公園(ゲ

イトボール専用グラウンド)ほ

みどりの感謝祭

703

県職員採用試験について

平成4年度職員採用試験の詳

細を盛り込んだ「職員採用試験総合案内」がきました。県人

事務課で配布しています。

くわしくは県人事委員会事務

局までお問い合わせください。

社会センターハ

6階 勘和歌山県いきいき長寿

号、参加種目を記入し、5月15日(必着)までに〒601和歌山市

小松原通1-1-11 大岩ビル

種目 ペタンク、硬式テニス、

軟式テニス、卓球、弓道

申込方法 ハガキに住所、氏名、

性別、生年月日、年齢、電話番

号、参加種目を記入し、5月15日(必着)までに〒601和歌山市

小松原通1-1-11 大岩ビル

などを受けます。くわしくは県厚生援護課、各市町村役場、平和祈念事業特別基金(03)3945-4

などを受給されていない方には慰労金(10万円)が支給されます。請求期限は平成5年3月31日までです。

くわしくは県厚生援護課、各市町村役場、平和祈念事業特別基金(03)3945-4

などを受給されていない方には慰労金(10万円)が支給されま

す。請求期限は平成5年3月31

日までです。

くわしくは県厚生援護課、各市町村役場、平和祈念事業特別基金(03)3945-4

などを受給されていない方には慰労金(10万円)が支給されま

す。請求期限は平成5年3月31

日までです。

くわしくは県厚生援護課、各市町村役場、平和祈念事業特別基金(03)3945-4

などを受給されていない方には慰労金(10万円)が支給されま

す。請求期限は平成5年3月31

日までです。

くわしくは申込先(073)

犬もあなたの家族です

銅い犬(生後91日以上)は毎年一回、登録・狂犬病の予防注射を行っています。

市町村役場へ春には各市町村で定期集合注射を受けましょう。

犬もあなたの家族です

銅い犬(生後91日以上)は毎年一回、登録・狂犬病の予防注射を行っています。

洋上老人大学の参加者

日時 6月9日～12日3泊4日

コース 和歌山港～(船中泊)

対象 (船中泊)～和歌山港

参加費 2万円

申込 5月8日までに各市町村役場へ

青年海外協力隊隊員

日時 5月13日

コース 県民文化会館前から暖地園芸総合指導センター、水産増殖試験場など

対象 20歳～39歳の方

参加費 2万円

申込 5月1日～30日までに各市町村役場へ

「油のつじい」参加者

日時 4月22日

コース 和歌山ターミナル

対象 4月22日～5月31日

参加費 16万円

申込 4月1日～30日までに各市町村役場へ

日本育英会奨学生採用候補者

日時 5月16日～17日一泊二日

場所 県立白崎少年自然の家

対象 市内在住の小学5・6年生

費用 1,660円

申込 4月18日までにハガキに住所、氏名、性別、電話番号、学校名、学年、白崎少年自然の学校までの交通機関を記入し、〒649-111日高郡由良町大引961-1

前期技能検定

日時 4月10日～7月20日

場所 和歌山市内

対象 ①高校(盲・ろう・養護学校高等部を含む)に在学中の生徒、②前記の高校、高等専門学校、大学、短大に進学予定の方

申込方法 ①4月10日～7月20日

在学を通じて日本育英会和歌山県支部へ。なお、申し込みには在学学校長の推薦が必要です。

30歳の青少年団活動に関心のある方

期間 8月7日～19日

訪問地 中国(北京、天津、上海、無錫)韓国(釜山)

資格 県内にお住まい20歳～30歳の青少年団活動に関心のある方

30歳の青少年団活動に関心のある方

近畿青年洋上大学

日時 5月17日10時30分～

集合場所 田辺市天神崎付近

対象 小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴)

費用 60人(先着順)

参加料 100円(傷害保険料)

申込方法 往復ハガキに住所、氏名、年齢または学年、電話番号を記入し、(649-111日高郡由良町大引961-1)

期間 4月10日～6月10日

訪問地 中国(北京、天津、上海)

対象 30歳の青少年団活動に関心のある方

30歳の青少年団活動に関心のある方

あなたの夢をキャッチフレーズに!

世界リゾート博

キャッチフレーズ募集



学年)、電話番号を記入し、5月15日(消印有効)までに〒640和歌山市西丁丁26県経済センタ内世界リゾート博協会キャッチフレーズ募集係へ

くわしくは応募先(073)33-6131

くわしくは応募先(073)43-1563

くわしくは応募先(07

ビデオでふるさと再発見



ふるさと創生事業をきっかけに自分たちの住む町を見つめ直そうといいくつかの町村が取り組んでいるのがビデオ制作。

このほど打田町と美里町でも町の歴史や自然、産業などを紹介したふるさとビデオが完成しました。

「わたしたちのまち打田町」、「星ふる里『美里』」と名づけられたこのビデオ。関西国際空港の開港をインパクトに飛躍しようとする町の姿が、美しい映像で描かれています。

それぞれ貸し出しを実施中(美里町は団体のみ)。

1,400円で販売も行っています。(くわしくは打田町役場 ☎(0736)77-2511、

○ 美里町役場 ☎(0734)95-2021へ



熊野灘に海洋牧場をつくると昭和五十七年から進められてきた「海域開発基幹事業」がこのほど完了、総額三十四億円をかけて大型魚礁の設置や漁場造成などが行われました。

対象は新宮市・古座町の沖合二万ヶ、この海域に鉄製の鳥かご型やコンクリートのピラミッド型など約六百基の魚礁が投入されました。またコンクリートブロックを海中に沈めたりして、魚のえさ場となる藻場整備なども同時に完成、ブリやアジ、カツオ、サバ、イセエビ、アワビなど回遊魚や魚介類の増殖に大きな効果が期待されます。

熊野灘に大規模漁場



海路を照らして 百余年

串本町大島の最東端に立つ櫻野崎灯台。明治3年に点灯した日本初の石造り灯台で、回転式の灯器も日本で最初、という歴史ある灯台です。

隣接する灯台職員用の官舎も灯台建設の際に建てられ(現在は無人)、灯台に負けず劣らず明治建築の面影を残しています。

近年、長年の強い海風や雨により損傷が目立っていましたが、このたび歴史ある建物を残そうと串本航路標識事務所が修復を行いました。

百年余りにわたって海を照らし続けている櫻野崎灯台。今夜も沖合34キロまで光りを送り、航行する船の道しるべとなっています。

(串本町)



紀南PRは特産品で

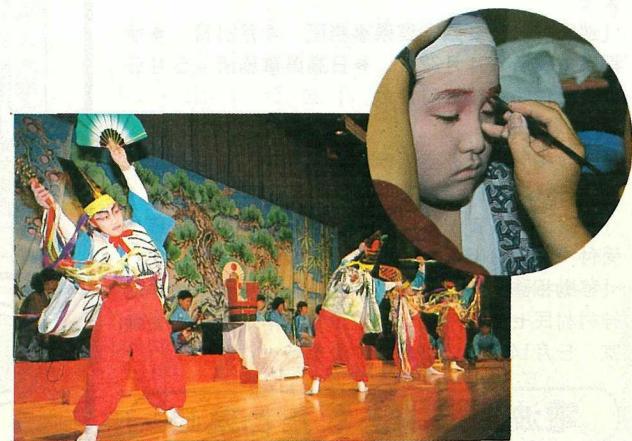


すみのいのぶた、南部の梅、龍神の自然水など紀南地方の特産品が並んで展示コーナーが白浜空港内のロビーにおめみえ、観光客らの人気を呼んでいます。

紀南地方の市町村などで構成する東京便利用促進協議会がもっと南紀の魅力を知らうと設けたこのコーナー、人気の備長炭などは購入希望者もあらわれるほどです。

同空港を利用する乗降客は年間約10万人。約30点のふるさと商品は紀南のふところの深さをアピールしてくれそうです。

(白浜町)



ほくらの子供歌舞伎

二川歌舞伎をご存知でしょうか。

清水町二川の城山神社の秋祭りの出し物として古くから伝わる郷土伝統芸能です。後継者難により伝統の存続が危ぶまれていましたが、三年前、近くの城山西小学校で体験学習のひとつに取り入れられ、子供たちに受け継がれています。

二月二十三日、小学校体育館で発表会が開かれました。四年生から六年生まで二十一人が出演しますが、練習を重ねてきた芝居も特に六年生にとっては今日が最後の舞台となり、開演前からみんな緊張気味です。

約二十分の歌舞伎を見事に演じ終え、家族や地元の皆さんのか手を受ける舞台の子供たち。とても大きく見えました。

(清水町)

第二の人生を芸術に
日高昌克



シリーズ72

ふるさと知識

か
あ
き
と

「予算とは何か?」簡単な数字で示したものである。この簡単なやり取りに感心させられたことがある。今月はその平成4年度当初予算を特集しました。翌年、医業を廃業。残された人生を画家として生きることとした。昭和三十六年アメリカ各市で個展開催。晩年は、かつらぎ町にて画業一途に励んだ。昭和三十六年、七十九歳で没。

ようで、なかなかうまく一言で表現できない質問があった。何と答えるのだろうかと耳を澄ましてみると「予算とは、知事の政策を取りに感心させられたことがある。今月はいつかい一年生、みんなじきに輝いています。一年中で一番華やいだ季節です。一方、私のような怠け者には「春眠暁を覚えず」。居眠り運転で一年生を泣かせぬようご用心、ご用心!